

平新報

發行日 五日發行
每月一回 山野邊庄吉
編輯兼發行所 山野邊庄吉
編輯兼印刷所 山野邊庄吉
發行所 平新報社
廣告料 五圓以上五折 一圓以下七折
定額 五圓以上五折 一圓以下七折

磐中三十五回卒業式

磐中第三十五回百八十三名の卒業式は去る七日午前致しました。よく私の全体十時より大略左の如く同校講堂に於て行はれた。
一 國歌合唱、一 教育勸諭捧讀、一 卒業證書授與
一 教練合格證書授與(大井川中佐) 一 賞状及び
一 賞品授與、一 小樽山校長訓辭(別項記載) 一 知事
告辭(高井教育課長代讀) 一 祝詞に入つて關内
同窓會長(別項記載) 來賓代表青沼平町長
一 在學生總代送辭(水野亨君) 一 卒業生總代答
辭(山崎研治君) 一 卒業生保護者總代謝辭(渡
邊貴一氏)



校長訓辭大要

左は七日磐中第三十五回出來たの直接には親の御卒業式にて校長小樽山久作
氏の名を以て訓辭大要

卒業生諸子 諸子は四年ほど
卒業生を送り出して今回
漸く送らる身となつたの
であり誠に慶賀の至りであ
ります。父兄の方々もこれ
で先づ一と安心せられた事
でありませうが、親として
は尙御前達の行く先々々
について、又新たに色々心
配して居らる事と拜察致し
ます。親は何處迄も難式を
致し、卒業を逃ぶるは余の
欣快とする思ふに諸子の
今後進むべき



同窓會長の祝詞

本日母校第三十五回卒業
式を挙ぐるに方り一言祝辭
を呈する所なり。

申し譯けがありません。併きた學問で已れを築きあげあります。學者に適した者
し乍ら所謂中堅國民としてねばなりません。役に立つは其の方向に進むがよい。
の世に處する道に於ては聊人間となるも役に立たぬ直ちに商業や農業の實務に
か會得して與れた事を確信人間となるも實はこれから從事するも良からう。藝術
致します。此氣分を三年五であります。色々困難や天分を認めるならば其の方
年緩めず努力して止まらなげ誘惑に會ふ事があらふを面に進むも良からう。要は
れば、必ず自分の運命を開くを克服して行くのが教育其の道に於て努力精進する
拓して親兄弟に満足して頂を受けた者の有難味であることである。
事が出来ぬ事と思ひます。これからの試験はその誘惑普通の才能の者が普通の努
國家としても目下緊張して困難である。立派に及力をするのには、普通以下
居り、學校としても緊張し第ねばなりません。その結果外收めることは出来
てゐる此秋に於て、卒業生に落第すれば段々人下の下ない、渾身の努力を以て其
の道に勵むならば、必ず道
事とはこれだけ諸子は心強積みとなつて終へます。
いか知れない。引き続き眞上の學校に出して貰うこと
面目な生活が出来ぬ事と思ひます。併し自分の才能 次に發展する道が開けて來
ふ。特に昭和十年の卒業生あります。併し自分の才能 次に發展する道が開けて來
といふことは、口調も宜しや、健康、家庭の境遇など、即ち努力必成である。
一生の語り草となるのを考へないで、徒に人の眞この努力必成の四字を諸子
く一生の語り草となるのを考へないで、徒に人の眞この努力必成の四字を諸子
正しく卒業致しました。併し何れも何れも何れも、先づ來の幸福を祈り、且つ將
會雜誌や、考査答案などをし乍ら中學校は終つても教員でも何れも何れも、先づ來の幸福を祈り、且つ將
通して、諸子の感想を洩れ育が終つた譯ではない。實自分の才能を考へて適當の
學校に進む者でも、これが
先づ自分自身で教育して
から、自分自身で教育して
學校に進む者でも、これが
先づ自分自身で教育して
學校に進む者でも、これが

山野邊久利氏渡満 同氏の歡送を兼ねた 二八會懇親會

磐中同窓二八會では會友山野邊久利氏が此程滿不日赴任する爲め、去る二
日午後六時より一越乃家に
同窓會長 關内正一

磐城セメント代理店

西村屋藥舖
平町二丁目(電話三番)

高久病院

院長 高久忠
副院長 赤羽菊雄
藥局長 佐竹雄

藤沼醫院

内科、小兒科
平町紺屋町 電話五〇七番

吸入用酸素

純度99%
体温器
寒暖計

關内藥局

電話四〇番

河川名稱變更の雄叫
藤原川を改め
玉川と復古是正せよ

玉川村 齋藤三代治

名は休を現すの道理、其知新靈國日本の相たる懐舊の稱呼は直ちに事物乃至郷土の美徳を涵養蓋切なる不喜式内住吉七社の内々くも

の一にして野田の入江、一切なり。嗚呼誰か名勝保存否定し得る者ぞ、然り而して

春蠶に力を入れよ

福島縣石城郡養蠶奨励會長 木田 藤次郎

それには蠶種を寒洗ひせよ、福島縣石城郡養蠶奨励會長

高久家の慶事

平町高久病院院長高久忠氏令嬢昌子さんは大嶺康氏夫妻

二月一日現在

本年度版は三月中旬に配本の豫定

和洋銅鐵金物商 釜屋商店 電話九九番

文部大臣 平陽女學校入學案内 附設平陽家政女學校

昭和三十二年入學生徒募集人員

本館 師範科 技藝高等科 専攻科

生徒募集 石城産科婦科看護婦學校

藤田女學校 文部大臣認可

非常時女性の性促進

平南町産婆看護婦學校

本校の特色

平南町産婆看護婦學校

本校の特色

平南町産婆看護婦學校

本校の特色

平南町産婆看護婦學校